

# 2023年3月期第2四半期決算説明資料

2022年11月7日

三信電気株式会社

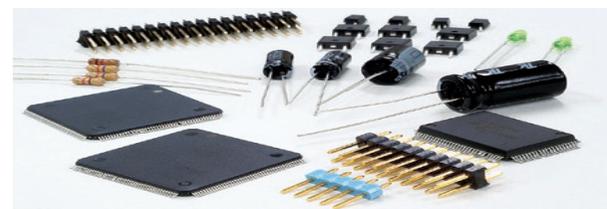
代表取締役 社長執行役員(COO) 鈴木俊郎

エレクトロニクスの総合商社としてお客様のベストパートナーを  
モットーにデバイス事業とソリューション事業を展開しております。

## デバイス事業

~幅広い製品ラインナップで多様なニーズに対応~

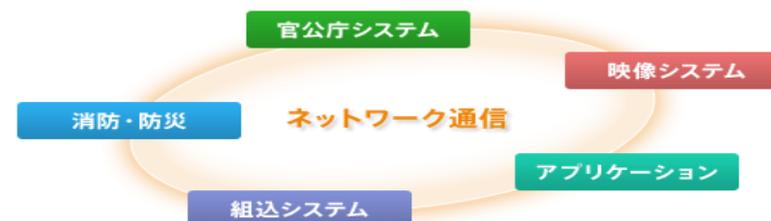
国内外大手の半導体 / 電子部品メーカーのほか、優れた製品開発を行っている新興メーカーまで幅広く取り扱っております。マーケットニーズが多様化する今日、充実したラインナップときめの細かい国内外販売体制でお客様のご要望にお応えしております。



## ソリューション事業

~ICTでつなぐ社会インフラの創造~

情報通信ネットワークを核に、お客様のニーズに最適なシステムの提案や構築を行っております。また、導入後のサポートメニューも含め一括したサービスで、お客様に安心・安全なインフラをご提供いたします。



# . 2023年3月期第2四半期業績概要

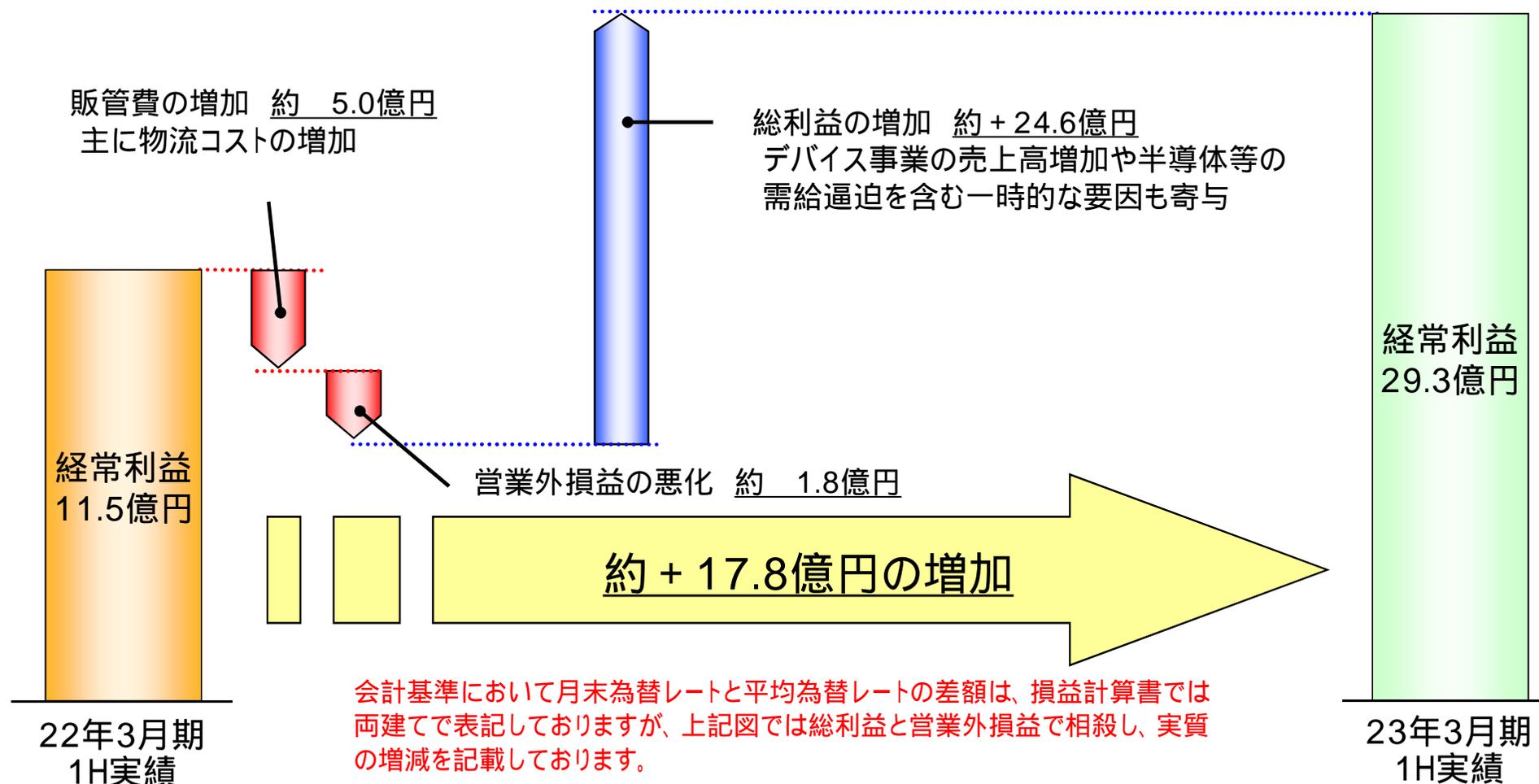
## 23年3月期第2四半期 連結業績概要（単位：億円）

売上高は前年同期比で+45%、損益面についても販管費増加があったものの増益

	22年3月期 第2四半期 累計実績	23年3月期 第2四半期 累計実績	前年 同期比	予想	予想比
売上高	570.5	829.9	145%	770.0	108%
売上総利益	10.1% 57.7	11.0% 91.7	159%	未公表	-
販管費	7.7% 44.2	5.9% 49.2	111%	未公表	-
営業利益	2.4% 13.5	5.1% 42.5	315%	4.1% 31.2	136%
経常利益	2.0% 11.5	3.5% 29.3	255%	2.9% 22.7	129%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.4% 7.9	2.6% 21.6	273%	2.2% 16.6	130%
1株当たり 中間配当金	普通配当	10円	+ 20円	30円	± 0円
	記念配当	20円	20円	-	± 0円
	合計	30円	± 0円	30円	± 0円
換算レート（1米ドル）	¥109.79	¥133.98	¥24.19	未公表	-

2023年3月期第1四半期決算発表（2022年8月5日）において公表した数値  
換算レートの前年同期比は、増減を記載

# 23年3月期第2四半期 連結経常利益対前期比較



## 23年3月期第2四半期 セグメント別連結業績概要（単位：億円）



### デバイス事業

電子部品や海外半導体の売上高が好調に推移したことに加え、円安基調の為替相場も追い風

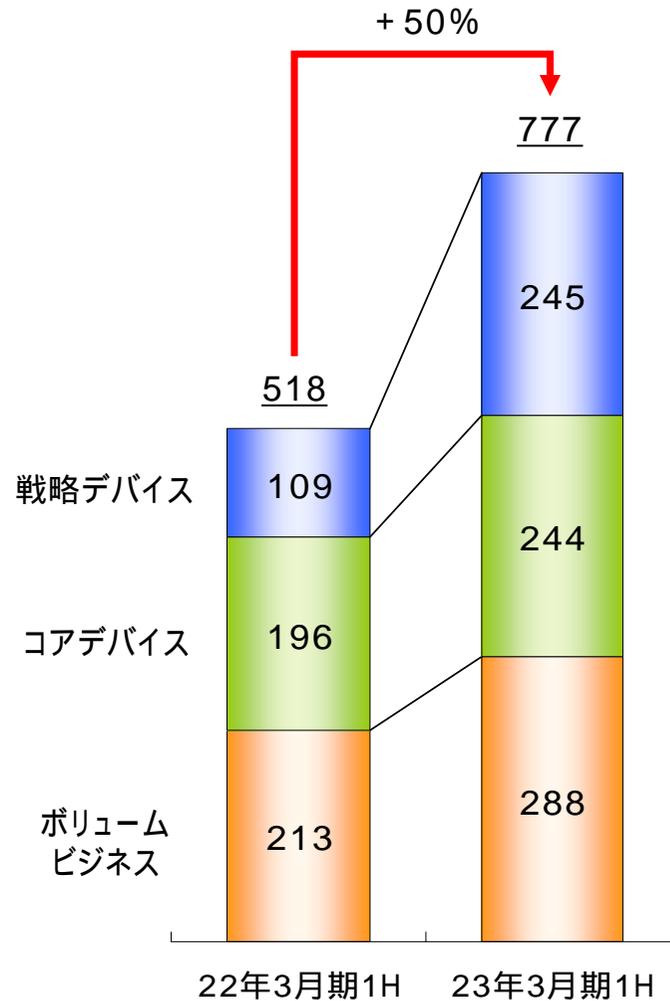
### ソリューション事業

半導体の需給逼迫に起因した製品の納入遅延により販売が総じて低迷

		22年3月期 第2四半期 累計実績	23年3月期 第2四半期 累計実績	前年 同期比
デバイス 事業	売上高	518.5	777.5	150%
	営業利益	2.9% 15.3	5.7% 44.4	291%
	セグメント利益	1.6% 8.4	3.4% 26.6	317%
ソリューション 事業	売上高	52.0	52.4	101%
	営業利益	9.7% 5.0	8.6% 4.5	89%
	セグメント利益	5.9% 3.1	5.3% 2.8	91%
換算レート（1米ドル）		¥109.79	¥133.98	¥24.19

換算レートの前期同期比は増減額を記載

# 23年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較 (単位:億円)

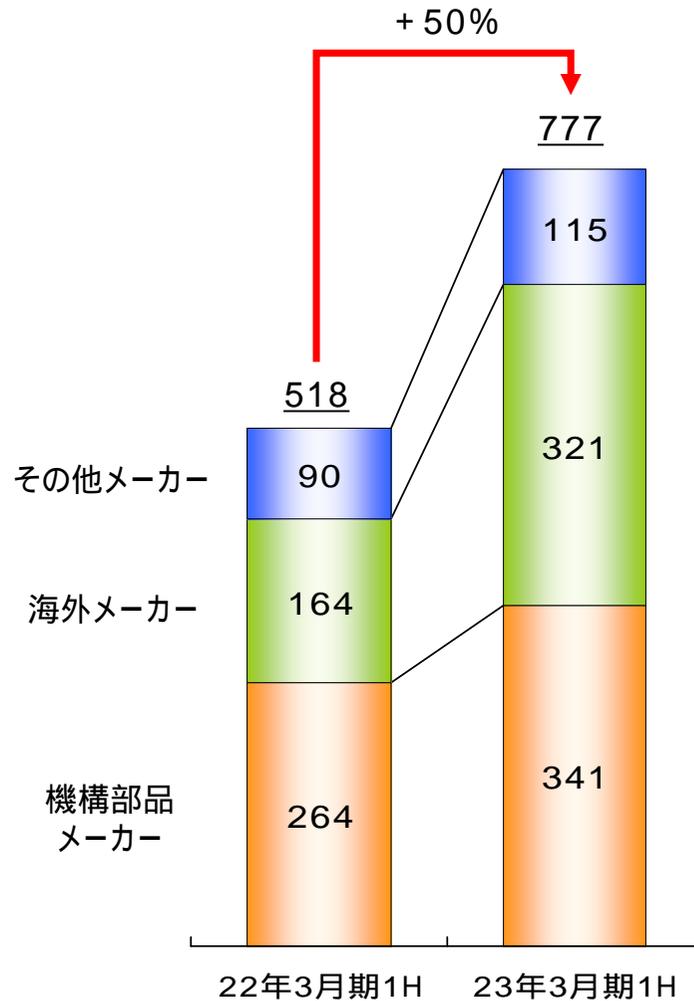


## デバイス事業ビジネス別

### 【前年同期比増減内容】

- ボリュームビジネス (前年同期比 + 35%)  
モバイル向けは堅調に推移  
社会インフラ向けは回復
- コアデバイス (前年同期比 + 24%)  
産業/車載/ストレージ向け等は堅調に推移  
ルネサスELは特約店契約解消により前期で終息
- 戦略デバイス (前年同期比 + 125%)  
無線/アナログ半導体等の海外商材が増加  
車載向けなどの新規顧客の立上げ  
モジュール製品も堅調に推移

# 23年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較 (単位:億円)



## デバイス事業仕入先別

### 【前年同期比増減内容】

機構部品メーカー (前年同期比 +29%)

モバイル向けやゲーム機向けが増加

海外メーカー (前年同期比 +96%)

無線/アナログ半導体等の戦略デバイスの増加

車載向けなどの新規顧客の立ち上げ

モジュール製品も堅調に推移

その他メーカー (前年同期比 +28%)

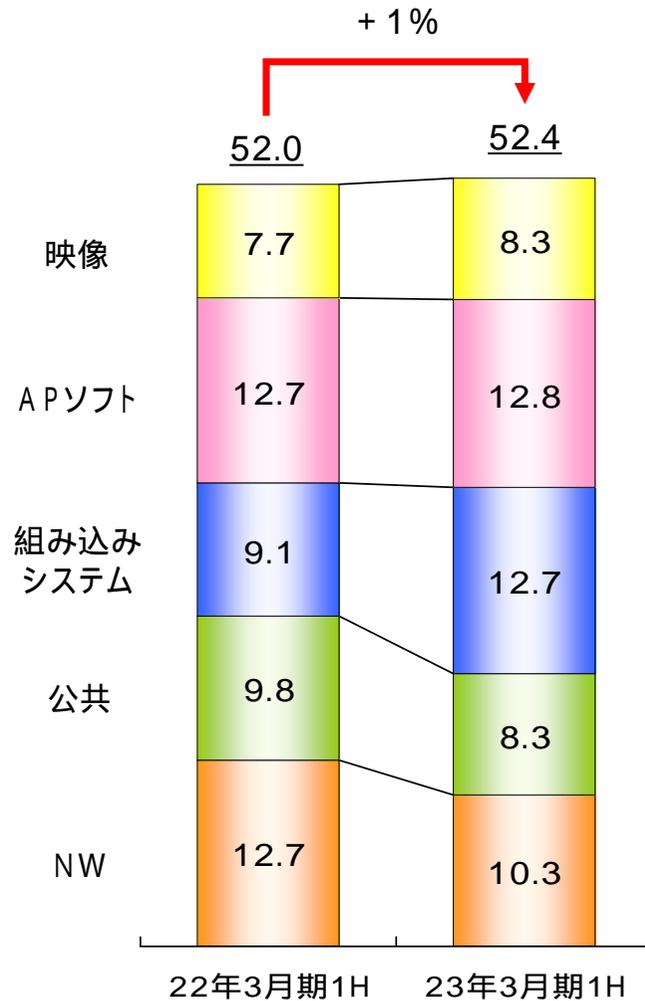
社会インフラ向けは回復

IoT関連Bizや販売代行等が増加

ルネサスELは特約店契約解消により前期で終息

22年3月期1HルネサスEL売上高実績 9億円

# 23年3月期第2四半期 連結売上高対前年同期比較 (単位:億円)



## ソリューション事業分野別

### 【前年同期比増減内容】

- NW (前年同期比 18%)  
NW機器納期遅延により減少
- 公共 (前年同期比 15%)  
防災無線更新案件の減少
- 組み込みシステム (前年同期比 +39%)  
サーバ関連等の需要回復
- APソフト (前年同期比 +1%)  
ソフト開発案件横ばい
- 映像 (前年同期比 +7%)  
ストリーミング配信案件が増加

## 23年3月期第2四半期 連結財務状況 (単位:億円)

22年9月末実績は総資産962億円(前期末比+234億円)、自己資本比率35.8%(前期末比-6.3%)  
売上高拡大で債権債務/棚卸資産が大幅増加、運転資本の増加は銀行借入で対応し有利子負債増加  
上記要因より営業CFは126.6億円、財務CFは+100.5億円

### 貸借対照表

	21年3月末 実績 A	22年3月末 実績 B	B - A 増減	22年9月末 実績 C	C - B 増減
現預金	255.4	93.1	162.4	70.0	23.1
売掛債権	335.4	358.7	23.3	487.3	128.7
棚卸資産	143.4	197.3	53.9	291.6	94.2
その他資産	111.8	79.0	32.8	113.3	34.2
資産合計	846.0	728.1	117.9	962.2	234.1
買掛債務	131.1	144.6	13.5	201.4	56.8
有利子負債	253.5	244.3	9.2	377.9	133.6
その他負債	29.4	32.4	3.1	38.2	5.8
純資産合計	432.1	306.8	125.3	344.7	37.9
負債・純資産合計	846.0	728.1	117.9	962.2	234.1
自己資本比率	51.0%	42.1%	-8.9%	35.8%	-6.3%

### キャッシュフロー計算書

	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 1H実績
売上債権の減少 (は増加)	46.3	0.1	76.9
棚卸資産の減少 (は増加)	18.9	45.6	74.9
仕入債務の増加 (は減少)	11.2	2.3	31.9
その他	21.7	65.3	6.6
営業C/F	16.9	21.9	126.6
投資C/F	3.8	1.5	0.3
財務C/F	89.3	185.9	100.5
換算差額	2.4	3.1	2.7
現預金の増減額	71.0	162.4	23.1
現預金の期末残高	255.4	93.1	70.0

# . V73中期経営計画の進捗状況

## 1. 事業構造改革による収益性向上と成長市場での事業拡大

デバイス事業.....既存事業の拡大と収益性の改善、新しい収益基盤の確立(事業ポートフォリオ改革)  
ソリューション事業...サービス提供型ビジネスの拡大、デジタル技術の拡充、顧客基盤の拡大

## 2. 資本効率の向上

連結配当性向50%を目途とした配当の継続、総資産の圧縮などによる資本効率の向上  
財務の健全性の維持と資金調達の機動性・安定性の確保

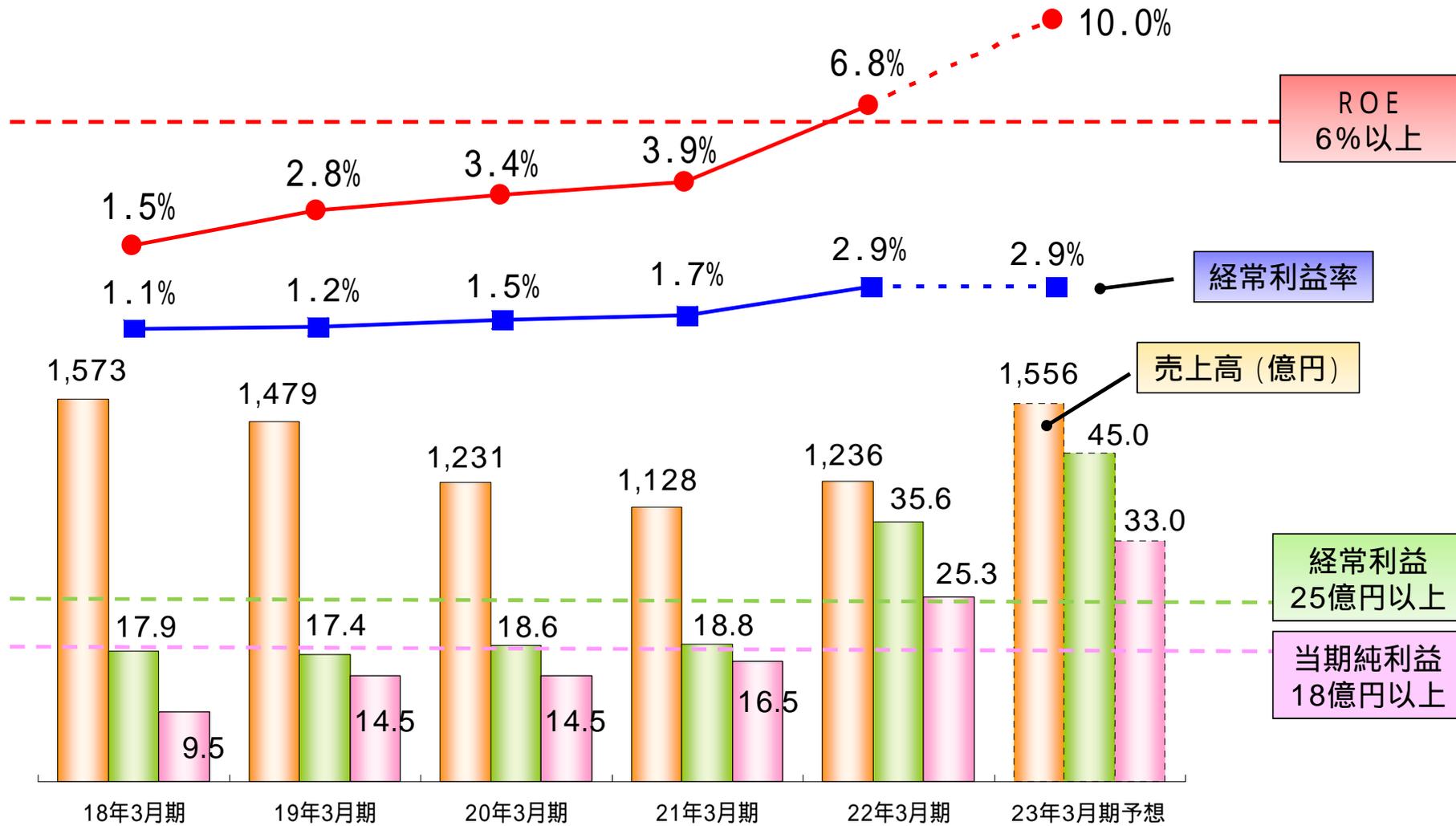
## 3. コーポレート・ガバナンスの強化

サステナビリティをめぐる課題への取り組み強化、中期経営計画の施策実行にあたり取締役会の機能強化



V73最終年度 定量目標 (2024年3月期)	ROE	V73期間中における 6%以上の維持
	経常利益	25億円以上
	親会社株主に帰属する当期純利益	18億円以上

# V73中期経営計画概要 (定量目標)



# V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策		取り組み内容	目指す効果および進捗状況
デバイス事業	既存事業の拡大と収益性の改善	リソースを海外半導体にシフト 既存仕入先から新規顧客を獲得 顧客及びビジネス別に組織を再編、拡販効率を改善 営業活動効率化の推進 ・営業支援システムの改善/新規導入、運用体制整備	<b>【目指す効果】</b> ・海外半導体メーカーの売上高増加 ・売上高セグメント利益率の向上  <b>【進捗状況】</b> 前期比は通期予想との比較 ・海外半導体メーカーの売上高前期比 + 69% ・売上高セグメント利益率は2.2% (前期比 + 0.2%) ・営業活動効率化に向けた取り組みは継続中
	新しい収益基盤の確立 (ポートフォリオ改革)	トータルソリューションの提供に注力 (AI/IoT、ロボティクス) AI/IoT関連 ・ため池、河川監視ソリューション+ で自治体アプローチ強化 ロボティクス分野 ・協業パートナーとの連携および部門間連携を強化し 新規開拓に注力 車載分野 ・無線モジュール、セキュリティ商材を含めた提案型ソフトウェアを キーに既存組織(自動車部)で新たな戦略を策定	<b>【目指す効果】</b> ・新市場(非エレクトロニクス含む)顧客の開拓 ・高収益率ビジネス獲得 ・売上高セグメント利益率の向上  <b>【進捗状況】</b> ・自治体向けため池ソリューションで受注獲得 ・ロボティクスは新市場顧客開拓の取組により商談化するも、セグメント利益率への貢献には時間を要する

# V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策		取り組み内容	目指す効果および進捗状況
ソリューション事業	サービス提供型 ビジネスの拡大	メガクラウド(AWS、MS Azure等)基盤を活用したサービス提供モデルの確立 三信データセンタビジネスの拡大 (ホスティング+運用保守、クラウド接続サービス) 汎用クラウドサービスの拡充 (クラウドバックアップ、クラウドセキュリティ等サービス拡充) サービスメニュー整備によるサブスクビジネス拡大	<b>【目指す効果】</b> 安定的なストック収益確保、拡大  <b>【進捗状況】</b> クラウドサービス拡大に伴い保守形態が変化 する中、クラウドサービスメニューの整備拡充 を加速
	デジタル技術の 拡充	セキュリティ技術進化への対応 ・ゼロトラスト思考ベースのセキュリティモデル提案実施 ・SASE技術への対応強化 新たなインフラ技術の修得 (SD-WAN、WiFi6、5G、プライベートLTE等)	<b>【目指す効果】</b> ソリューション事業の売上拡大  <b>【進捗状況】</b> 先端技術(SASE、5G)を活用した提案活動充実
	顧客基盤の 拡大	外部コンサルと連携した新商材発掘、ドアロックツール拡大 パートナー連携による顧客拡大 本部内横断によるクロスセル推進 モバイル中継装置等既存商材の新市場開拓 DX需要の取り込み	<b>【目指す効果】</b> 事業領域の拡大と新たな収益源泉の発掘  <b>【進捗状況】</b> ○ 新規仕入先との契約拡大、来期以降の収益寄 与を目指す プリセールス強化によるクロスセル推進等、 事業横断での新規拡大を推進中

## V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策	取り組み内容	目指す効果および進捗状況
<p>資本効率の向上</p>	<p>自己資本の規模を適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の資金需要を踏まえ、700万株(当時の発行済みに対する28.83%相当)、157億円の自己株TOBを実施(2021年6月)</li> <li>・連結配当性向50%を目途とする配当の継続</li> </ul> <p>財務の健全性維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引条件の改善(新規取引の条件厳格化)</li> <li>・大口債権の流動化</li> <li>・政策保有株式の縮減 21/3末 22銘柄      22/9末 15銘柄 (6銘柄を売却、1銘柄を純投資株式に振替え)</li> </ul> <p>資金調達の機動性・安定性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミットメントライン契約の締結(2021年8月31日～)</li> </ul>	<p><b>【目指す効果】</b> ROEの向上</p> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本の規模を適正化した結果、V73期間中のROEは当初目標(5%)を上回る水準で推移見込み。</li> <li>・22年9月末時点の自己資本比率35.8%も23年3月末時点では安定的な取引継続に必要な水準である40%以上を目指す。</li> </ul>

# V73中期経営計画 重点施策の進捗一覧

中期経営計画施策	取り組み内容	目指す効果および進捗状況
<p>コーポレート・ガバナンスの強化</p>	<p>サステナビリティ(SDGs、ESG)を巡る課題への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイバーシティ確保に向け目標を開示(2021年12月)</li> <li>【管理職比率目標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>女性:10%(2031年3月期までに)</li> <li>外国人:10%以上維持継続</li> <li>中途採用者:30%以上維持継続</li> </ul> </li> <li>目標達成に向け、採用母数の拡大と職場環境整備に向けた施策を実施</li> <li>・人的資本に対する投資強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>専門スキル向上に向けた社員教育研修制度の強化</li> </ul> </li> <li>・気候変動問題に対する対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>TCFDの要求項目に沿った開示</li> <li>温室効果ガス排出量の削減</li> </ul> </li> <li>取締役会の機能強化</li> <li>・重要事項の的確な意思決定および業務執行の監督に必要なスキルバランスの確保</li> </ul>	<p>【目指す効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な成長に向けた経営基盤の確立と戦略シナリオの策定</li> <li>・ステークホルダーに対する説明責任の強化</li> </ul> <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性管理職比率は5%(22年3月末)</li> <li>・従来の集合研修に加え、Udemyをはじめ外部研修プログラムを活用し、社員のスキル向上に向けたメニューの拡充</li> <li>・TCFD開示は当初予定(2024年5月)を1年前倒し、2023年5月の開示を目指す</li> <li>・温室効果ガス排出量についてはScope1,2およびScope3(一部)について定量把握開始</li> <li>24/3期以降は削減目標を設定予定</li> <li>・2022年6月総会招集通知より必要なスキルおよびその保有状況をマトリックス表として開示</li> </ul>

# . 2023年3月期業績予想

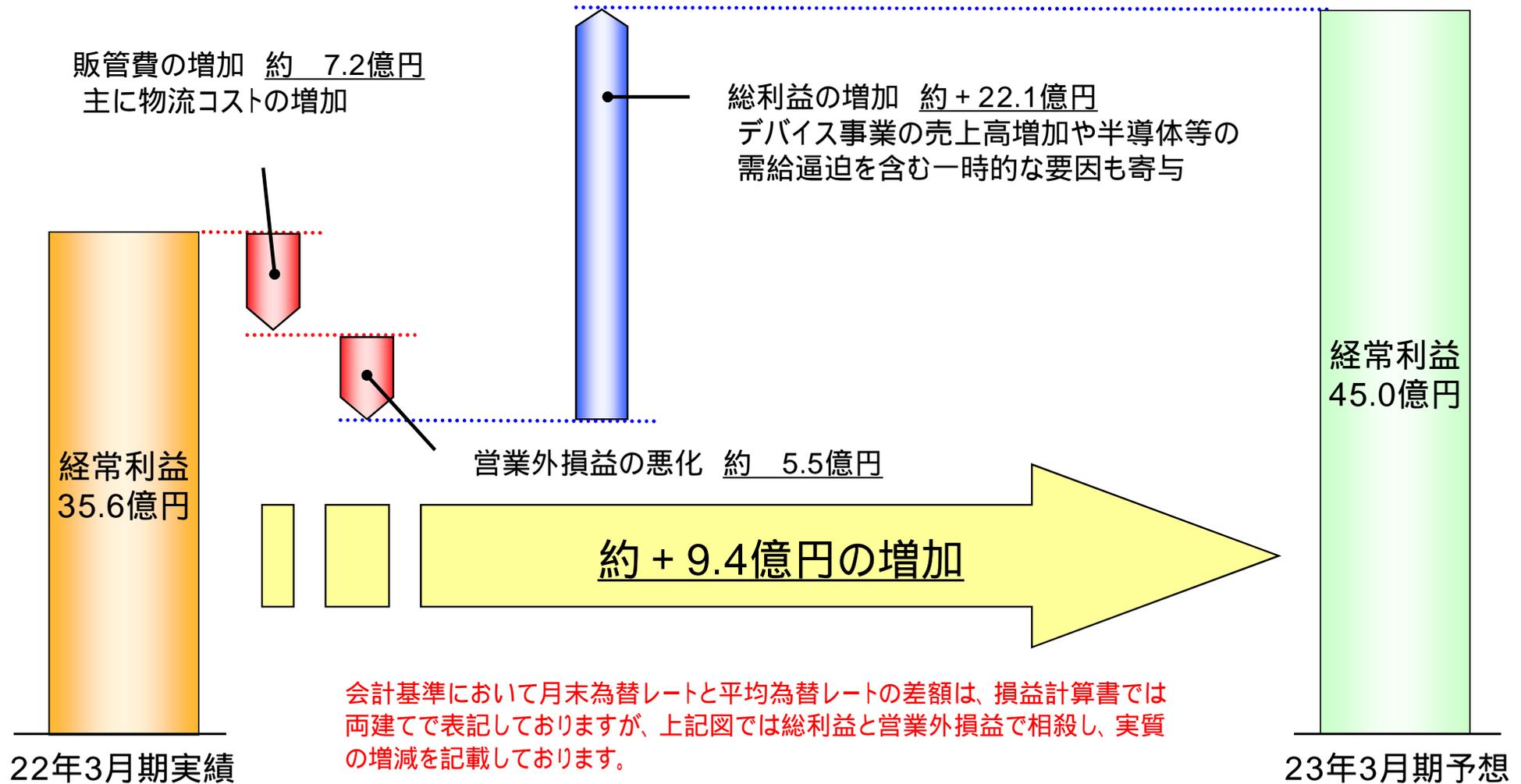
## 23年3月期 連結業績予想 (単位:億円)

売上高は1,556億円を見込む(前期比26%増加)、利益面でも増益の見通し

	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 予想	前期比	
売上高	1,572.6	1,478.8	1,230.9	1,127.9	1,235.8	1,556.0	126%	
売上総利益	7.3% 114.5	7.7% 114.1	9.1% 112.3	9.8% 110.5	10.9% 135.3	10.4% 162.4	120%	
販管費	6.2% 96.8	6.4% 94.4	7.5% 92.7	7.9% 88.8	7.5% 93.2	6.5% 100.4	108%	
営業利益	1.1% 17.6	1.3% 19.7	1.6% 19.6	1.9% 21.7	3.4% 42.1	4.0% 62.0	147%	
経常利益	1.1% 17.9	1.2% 17.4	1.5% 18.6	1.7% 18.8	2.9% 35.6	2.9% 45.0	126%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	0.6% 9.5	1.0% 14.5	1.2% 14.5	1.5% 16.5	2.0% 25.3	2.1% 33.0	131%	
自己資本当期純利益率 (ROE)	1.5%	2.8%	3.4%	3.9%	6.8%	10.0%	+3.2P	
1株当たり 年間配当金	普通配当	33円	70円	70円	40円	80円	135円	+55円
	記念配当	-	-	-	-	20円	-	20円
	合計	33円	70円	70円	40円	100円	135円	+35円
配当性向	98.2%	93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	50.4%	+1.6P	
換算レート(1米ドル)	¥110.86	¥110.91	¥108.74	¥106.06	¥112.38	¥130.00	¥17.62	

ROE、1株当たり年間配当金、配当性向、換算レートの前期比は、増減を記載

# 23年3月期 連結経常利益対前期比較



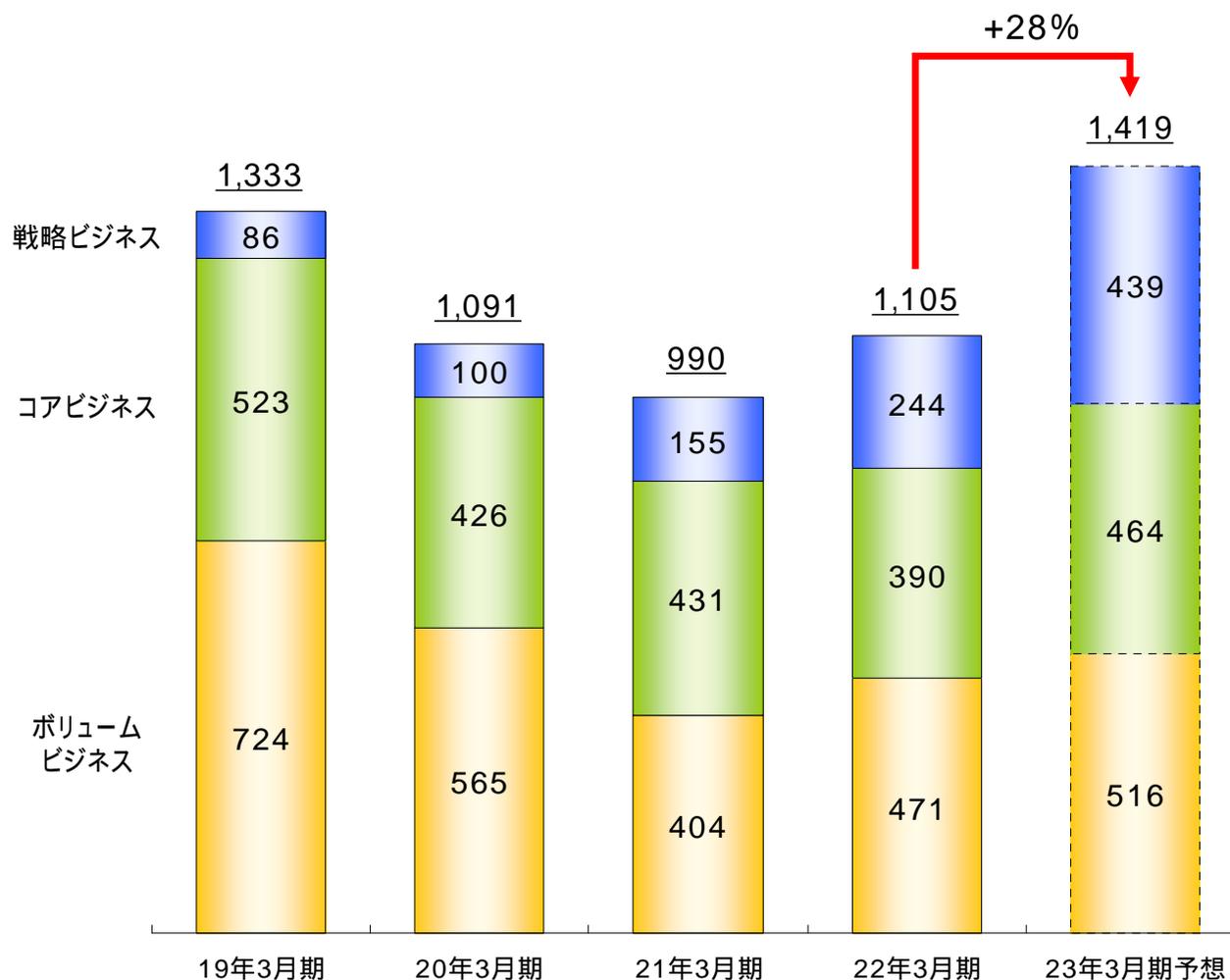
## 23年3月期 セグメント別連結業績予想（単位：億円）

デバイス事業は売上高は前期比28%の増加、セグメント損益は売上高の増加に伴い増益の見通し  
ソリューション事業は売上高は前期比5%の増加、セグメント損益は前期比横這いの見通し

		18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 予想	前期比
デバイス 事業	売上高	1,437.0	1,332.8	1,090.8	989.9	1,105.2	1,418.7	128%
	営業利益	1.1% 16.2	1.3% 17.1	1.4% 15.3	1.6% 15.7	3.6% 40.1	4.2% 59.5	149%
	セグメント利益	0.5% 7.2	0.3% 4.7	0.4% 4.2	0.2% 1.7	2.0% 21.9	2.2% 31.2	143%
ソリューション 事業	売上高	135.6	146.0	140.1	138.0	130.6	137.3	105%
	営業利益	9.8% 13.4	11.3% 16.5	13.2% 18.4	15.2% 21.0	14.0% 18.3	13.1% 18.0	98%
	セグメント利益	7.8% 10.6	8.7% 12.7	10.3% 14.4	12.4% 17.1	10.5% 13.7	10.1% 13.8	101%
換算レート（1米ドル）		¥110.86	¥110.91	¥108.74	¥106.06	¥112.38	¥130.00	¥17.62

換算レートの前期比は、増減額を記載

# 23年3月期 連結売上高対前期比較 (単位:億円)

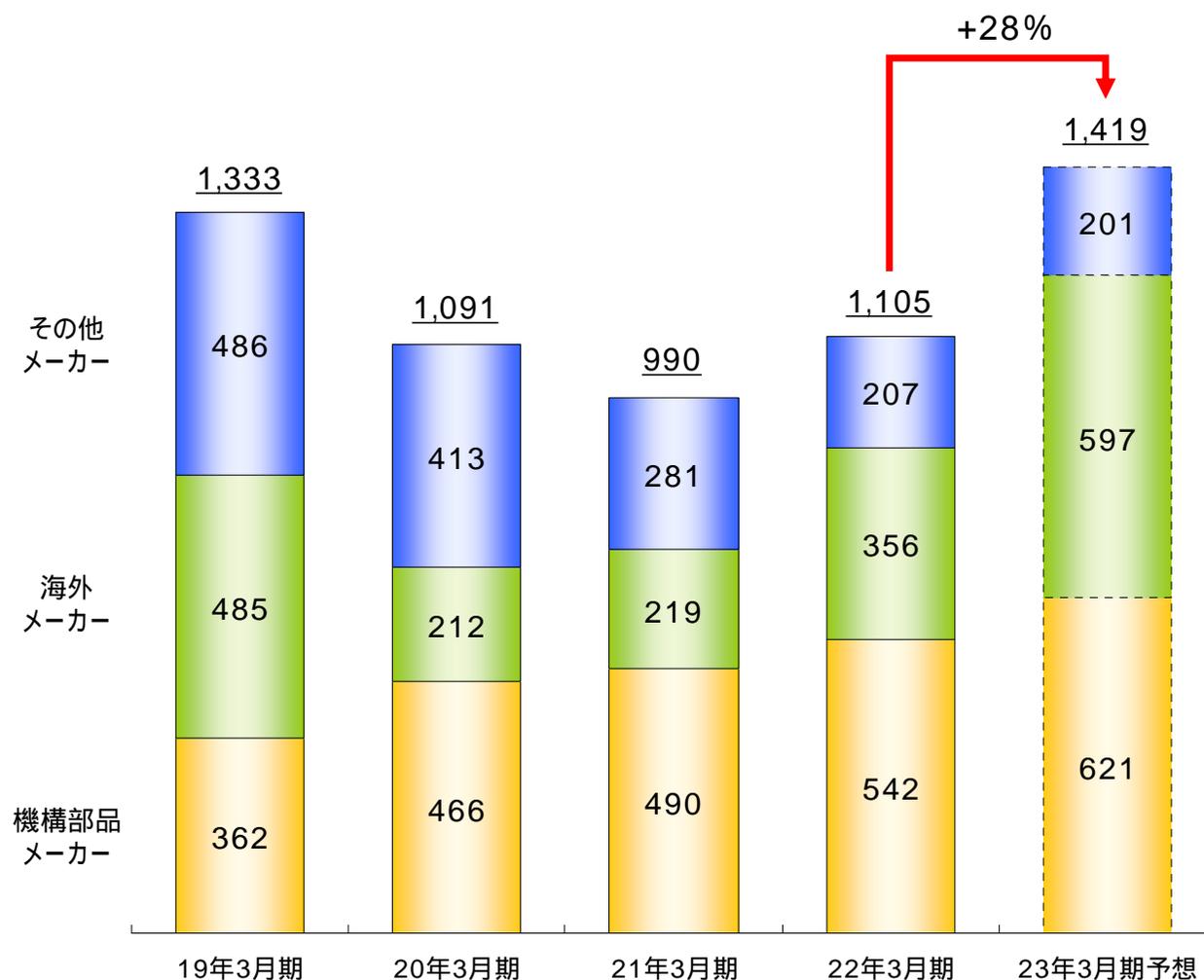


## デバイス事業ビジネス別

### 【前期比増減内容】

- ボリュームビジネス (前期比 + 10%)  
モバイル向けが増加  
社会インフラ向けは下期減少に転じる
- コアデバイス (前期比 + 19%)  
産業/車載/ストレージ向け等は堅調に推移  
ルネサスELは特約店契約解消により前期で終息
- 戦略デバイス (前期比 + 80%)  
無線/アナログ半導体等の海外商材が増加  
車載向けなどの新規顧客の立ち上げ  
モジュール製品も堅調に推移

## 23年3月期 連結売上高対前期比較（単位：億円）



### デバイス事業仕入先別

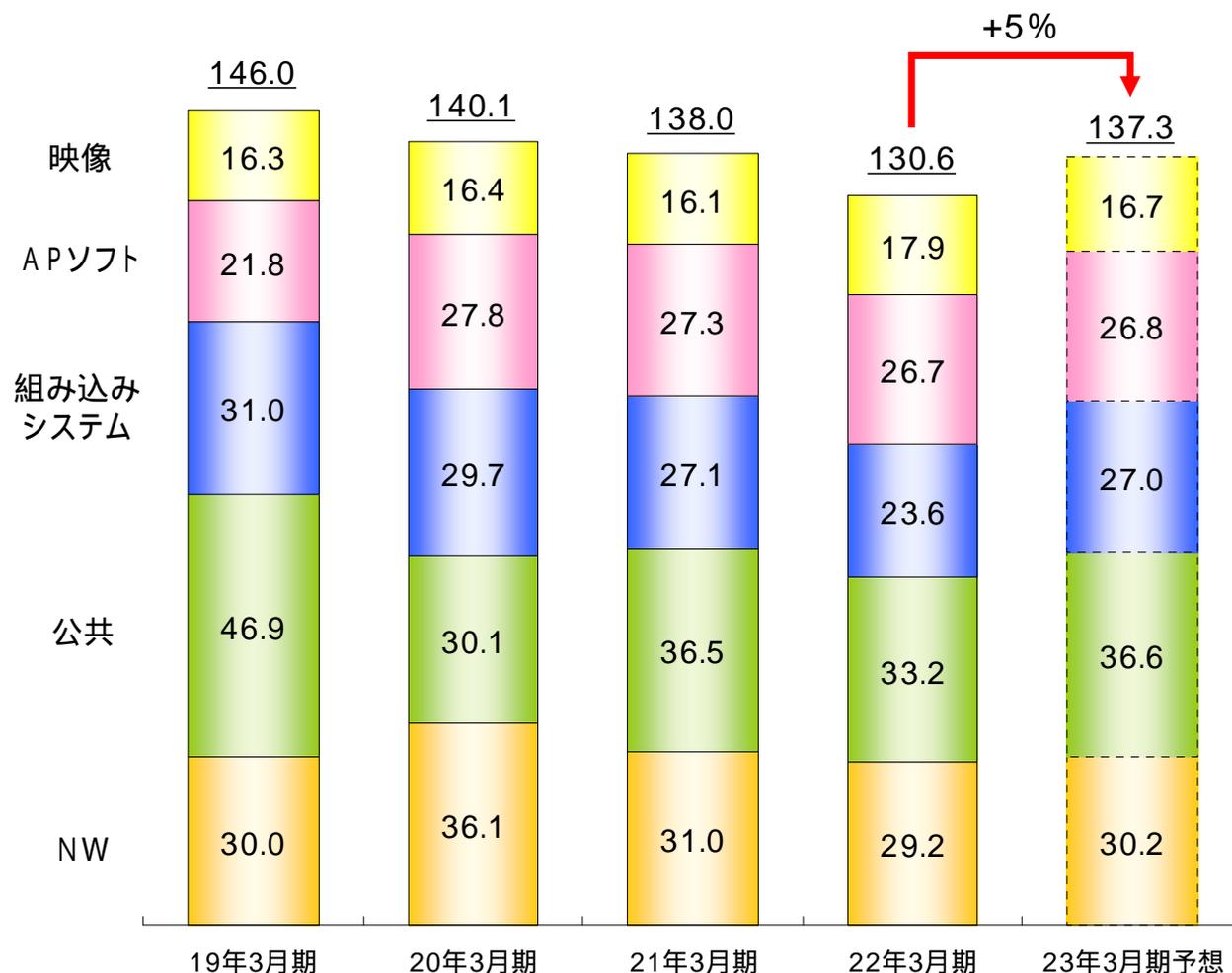
#### 【前期比増減内容】

- 機構部品メーカー（前期比 + 15%）  
モバイル向けやゲーム機向けが増加
- 海外メーカー（前期比 + 68%）  
無線/アナログ半導体等の戦略デバイスの増加  
車載向けなどの新規顧客の立ち上げ  
モジュール製品も堅調に推移
- その他メーカー（前期比 3%）  
ルネサスELは特約店契約解消により前期で終息

注) ルネサスELの売上推移(その他メーカーの内数)

19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期
230	173	122	9	0

# 23年3月期 連結売上高対前期比較 (単位:億円)



## ソリューション事業分野別

### 【前期比増減内容】

- NW (前期比 + 3%)  
民間企業ITインフラ設備投資の増加
- 公共 (前期比 + 10%)  
防災無線更新案件の増加
- 組み込みシステム (前期比 + 14%)  
サーバ関連等の需要回復
- APソフト (前期比 + 0%)  
ソフト開発案件横ばい
- 映像 (前期比 - 6%)  
ストリーミング配信需要が減少

## 23年3月期 連結財務状況 (単位:億円)

23年3月末予想は総資産 863億円(前期末比 + 135億円)、自己資本比率40.8%(前期末比 1.3%)  
 売上高拡大に伴い総資産、運転資本が増加、営業CFは 60.2億円の見込み  
 運転資本改善に向け新規取引条件の厳格化や債権流動化活用し有利子負債の圧縮を図る  
 2021年8月に総額60億円のコミットメントライン契約締結し手元流動性補完

貸借対照表

	21年3月末 実績 A	22年3月末 実績 B	B - A 増減	23年3月末 予想 C	C - B 増減
現預金	255.4	93.1	162.4	75.0	18.1
売掛債権	335.4	358.7	23.3	461.5	102.8
棚卸資産	143.4	197.3	53.9	247.5	50.2
その他資産	111.8	79.0	32.8	79.0	0.0
資産合計	846.0	728.1	117.9	862.9	134.8
買掛債務	131.1	144.6	13.5	175.1	30.5
有利子負債	253.5	244.3	9.2	301.5	57.3
その他負債	29.4	32.4	3.1	33.9	1.5
純資産合計	432.1	306.8	125.3	352.4	45.6
負債・純資産合計	846.0	728.1	117.9	862.9	134.8
自己資本比率	51.0%	42.1%	-8.9%	40.8%	-1.3%

キャッシュフロー計算書

	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 予想
売上債権の減少 (は増加)	46.3	0.1	102.8
棚卸資産の減少 (は増加)	18.9	45.6	50.2
仕入債務の増加 (は減少)	11.2	2.3	30.5
その他	21.7	65.3	62.2
営業C/F	16.9	21.9	60.2
投資C/F	3.8	1.5	2.0
財務C/F	89.3	185.9	44.1
換算差額	2.4	3.1	
現預金の増減額	71.0	162.4	18.1
現預金の期末残高	255.4	93.1	75.0

## 利益配分に関する方針

当社は、株主の皆様へ利益を還元していくことを重要な経営課題の一つとして位置づけております。配当につきましては、連結配当性向50%を目処とし、株主の皆様への利益還元、成長機会獲得のための投資、持続的な成長を可能とする内部留保、資本効率の向上、これらのバランスを考慮して決定することを基本方針としております。

## 23年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金 135円(中間配当:30円、期末配当:105円)、連結配当性向 50.4%

		18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 予想	前期比
1株当たり 年間配当金	普通配当	33円	70円	70円	40円	80円	135円	+55円
	記念配当	-	-	-	-	20円	-	20円
	合計	33円	70円	70円	40円	100円	135円	+35円
配当性向		98.2%	93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	50.4%	+1.6P

前期比は増減額を記載

## 株主還元推移

	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 実績	23年3月期 予想
連結当期純利益	947百万円	1,449百万円	1,451百万円	1,646百万円	2,525百万円	3,300百万円
包括利益	912百万円	1,585百万円	666百万円	2,393百万円	4,204百万円	-
連結自己資本比率	65.7%	48.3%	57.0%	51.0%	42.1%	40.8%
配当総額 (1株当り配当)	934百万円 (33円)	1,352百万円 (70円)	1,352百万円 (70円)	773百万円 (40円)	1,232百万円 (100円)	1,662百万円 (135円)
連結配当性向	98.2%	93.3%	93.2%	46.9%	48.8%	50.4%
自己株式取得総額 (取得株式数)	-	197.2億円 (900万株)	-	-	157.4億円 (700万株)	未定
総還元性向( + ) ÷	98.2%	1,454.2%	93.2%	46.9%	672.3%	未定
自己株式消却	-	5,000千株	-	-	8,000千株	未定
期末発行済株式総数 (自己株式除く)	29,281千株 (28,179千株)	24,281千株 (19,178千株)	24,281千株 (19,180千株)	24,281千株 (19,183千株)	16,281千株 (12,183千株)	未定
1株当たり当期純利益	33.62円	67.48円	75.66円	85.82円	171.12円	270.66円
1株当たり純資産	2,191.19円	2,224.47円	2,188.84円	2,249.40円	2,514.04円	2,890.31円

- 1) 配当総額には、取締役(社外取締役を除く)を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する株式に対する配当額も含まれます。  
また、22年3月期実績には1株当り20円の記念配当を含んでおります。
- 2) 1株当り当期純利益は期中平均発行済株式数(自己株式除く)で算出しております。
- 3) 1株当り純資産は期末発行済株式総数(自己株式除く)で算出しております。
- 4) 23年3月期予想における1株当り当期純利益、1株当り純資産は22年3月末発行済み株式総数(自己株式除く)で算出しております。



信用

商売は信用がなければ成り立たない。信用に始まって信用に終わる。



信念

利を追うだけでなく、信念に基づいて行動する。その信念は自己研鑽の結果身につくものである。



信実

すべてのことに真心をもってあたる。課題には正攻法で立ち向かう。